

2/10 Hirado City Photo News
ゴールを目指し健脚を競う



生月支所前をスタート・ゴールとするコースで行われる「いきつきロード2019」大会が開催されました。

全22種目に市内外から約650人が参加しました。この日は肌寒さはあったものの、風がほとんどなく、絶好のコンディションのもと、参加者の皆さんは、沿道からの声援に支えられ、懸命にゴールを目指し力走しました。

大会終了後は、地元の団体や業者が出店した料理を堪能していました。

2/2 Hirado City Photo News
今年は初めて鉄道での避難も



佐賀県の玄海原子力発電所における万が一の事故に備え、防災関係機関と連携した原子力防災訓練が行われました。

今年は、鉄道を使って避難する訓練を田平地区で実施。たびら平戸口駅・西田平駅で3両編成の松浦鉄道に地元住民ら約30人が乗車し避難しました。

大久保地区では個人の自家用車を使って平戸中学校まで避難。離島地区では、海上保安庁や海上自衛隊の船で本土に移動した後、同じく平戸中学校へ避難し、スクリーニングの処置などを行いました。

2/3 Hirado City Photo News
泣いたが勝ちよ、はっけいよい!



最教寺奥の院で「子泣き相撲」が行われました。子泣き相撲は、約400年前赤ちゃんの泣き声が亡霊を退散させたという逸話が起源となっており、現在は赤ちゃんの健康を願う行事として毎年節分の日に開催されています。

今年は、悪天候にもかかわらず、150組約300人の赤ちゃん力士が全国から参加し、遠くは青森県から参加した親子も。会場では、雨の音もかき消すほどの力強い泣き声と子どもの健康を願う親の笑い声などでにぎわいました。



2/19 Hirado City Photo News
避難生活での口腔ケアを担って



平戸市役所で「災害時等の歯科医療救護活動に関する協定締結式」が行われました。

市内で大規模な災害が起きた際、市から北松歯科医師会への派遣要請により、歯科医師や歯科衛生士を避難所などへ派遣し、避難者への歯の応急措置や口腔ケアなどを行います。

北松歯科医師会の西田会長は「熊本地震において、高齢者や乳幼児が避難所で食事を満足にできないなどの問題があったので、市と連携し避難者への役に立てよう尽力したい」と話しました。

2/11 Hirado City Photo News
認めて褒めて励まし合おう



田平町民センターで「まちづくり運営協議会活動自慢発表大会」が開催されました。

この日は、市内各地区のまちづくり運営協議会のほか、地域住民合わせて約90人が参加し、各地区の自慢できる活動を発表しました。

発表後は、終始ざっくばらんな雰囲気の中、各地区のまちづくり運営協議会と地域住民を交えたワークショップ(討論)を行い、参加者はお互いの協働意識や情報を共有し、最後に他地区の優れた活動を取り入れることを宣言し、決意を新たにしました。

1/9 Hirado City Photo News
お話しが大好き



辻町の日高キクさんが100歳の誕生日を迎え、黒田市長が入所先のわたつみの里を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

キクさんは結婚後、2人の子どもに恵まれ、現在は孫が5人います。キクさんはお話をすることが大好きで、入所してから利用者の皆さんと毎日会話を楽しんでいます。

お祝い式にはご家族や施設の皆さんが出席し、式の最後にはキクさんが皆さんにお礼のあいさつをしました。

1/9 Hirado City Photo News
いつまでもお元気で祝100歳



生月町の村田ツヤ子さんが100歳の誕生日を迎え、黒田市長が入所先の生寿園を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

ツヤ子さんは結婚後、4人の子どもに恵まれました。とても面倒見がよく優しい性格で、施設に入所してから他の利用者や仲間と仲良く、行事やレクリエーションなどに積極的に参加するなど、毎日楽しく過ごしています。

お祝い式には、親戚や施設の職員の皆さんが出席し、とてもにぎやかな式になりました。